

特別講演 1

「ガイドラインに基づいた心不全診療のポイント」

彦根市立病院診療局長／循環器内科主任部長

中野 顯 先生

心不全患者は現在 100 万人を超えると推計され今後も増え続けると予想されている。有効な根治療法がないために 5 年生存率は 50%前後であり、一度発症すると不可逆的に進行する。2017 年に改訂された心不全診療ガイドラインでは、心不全とそのリスクの進展のステージを ABCD で分類し、それぞれの治療目標が設定された。さらに、心不全の発症予防、診断に関するアルゴリズムや急性心不全・慢性心不全治療における病態をふまえたフローチャートが新たに作成された。

本講演会では、新しい心不全ガイドラインに基づいた心不全診療のポイントを循環器専門医以外の先生にもわかりやすく解説し、水利尿薬、SGLT2 阻害薬、今後使用可能となる心不全治療薬のエビデンスおよびその使用方法についても述べたい。

さらには超高齢化社会の心不全診療における地域連携の重要性と滋賀県および当院での取り組みについても紹介したい。